掲示板のことば

かけがえのない
自分の人生を
そのまま
受け取れない
自分がいる

2018. 04

4月8日は、お釈迦さまが誕生された日と伝えられています。仏教寺院においては、「花まつり」というお釈迦様の誕生を喜び合う法要が営まれ、花御堂が設置されて、お釈迦様の像に甘茶をおかけします。

その釈迦さまのお姿は、生まれてすぐに7歩歩いて、天と地を指さし、「天上天下唯我独尊（てんじょうてんげゆいがどくそん）」とおっしゃったといわれる伝承に基づいたお姿を表しています。

「天上天下唯我独尊」とは、「天の上にも下にも、ただ我ひとりにして尊（とうと）し」ということですが、私一人だけが尊いとおっしゃっているわけではありません。「我ひとりにして」ということは、誰も代わることのできないかけがえのない「いのち」の尊さを表しています。

しかし私たちは、いのちの事実を受け取ることができずに、「ああなりたい、こうなりたい」「こんなはずではない」「こんな人生は嫌だ」と言っただけでは、かけがえのない私の「いのち」を自ら傷つけてしまっています。なかなか「そのまま」受け取ることができません。

私の人生において、つらいことや悲しいこと、受け入れがたい事実は確かにあります。それでもお釈迦さまは、その人生は誰も代わることのできない尊い「いのち」の営みなのだと教えてくださるのです。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹